



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠を
つくりました

地元の声

- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると心配。(地元住民)
- ・過去にがけ崩れが起きたこともあるため、心配。(地元住民)

事業前

◆住宅地の裏側に急斜面があり崩落の危険がありました。



事業前の状況

事業後

◆法枠を整備して斜面の崩壊を未然に防止しました。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：高崎市箕郷町松之沢
- 事業内容：法枠工
- 事業期間：平成30年度～令和4年度

※法枠（のりわく）とは、コンクリートなどで格子状の枠を設けて、斜面の風化、浸食、崩落などを防止するものです。



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に本事業は完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了